

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導において ICTを活用する際のポイント

国語科における「学習過程」とICTの活用場面

新学習指導要領では、国語科の指導の改善・充実を図る観点から、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。GIGAスクール構想のもとでのICTの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができる。

国語科の学習過程 ※必ずしも一方向、順序性のある流れではない。

考えられるICT活用場面

※以下の各場面は、あくまで本資料として便宜的に挙げたものであり、特定の学習過程と紐づくものでも、固定的に捉えるべきものでもない。

A 話すこと・聞くこと			B 書くこと	C 読むこと
<話すこと>	<聞くこと>	<話し合うこと>		
話題の設定	話題の設定	話題の設定	題材の設定	構造と内容の把握
情報の収集	情報の収集	情報の収集	情報の収集	
内容の検討	構造と内容の把握	内容の検討	内容の検討	精査・解釈
構成の検討		内容の検討	構成の検討	
考えの形成	精査・解釈	話合いの進め方の検討	考えの形成	考えの形成
表現	考えの形成	考えの形成	記述	
共有	共有	共有	推敲	共有
			共有	

→ 情報を収集して整理する場面

→ 自分の考えを深める場面

→ 考えたことを表現・共有する場面

→ 知識・技能の習得を図る場面

→ 学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

GIGAスクール構想のもとでの国語科の指導において ICTを活用する際のポイント

場面に応じた国語科におけるICT活用のイメージ（例）

情報を収集して整理する場面

- インターネットを活用して学習課題に関連する情報を調べ、集めた情報を内容に応じて整理する。
- 収集した情報を各自のフォルダに保存し、表計算ソフトなどを活用してデータベース化する。

自分の考えを深める場面

- 自分で考えたことを画面上の付箋に書き出し、その付箋を目的や意図に応じて分類する。
- プレゼンテーションソフト上でスライドを並べ替えるなどして、自分の伝えたいことがより明確に伝わるよう、目的や意図、相手に応じて用いる情報を取捨選択したり、話や文章の構成を考えたりする。
- デジタル教科書上で自分が重要だと考えた箇所に線を引き、友達と比較するなどして、考え直した場合に線を引き直す。

考えたことを表現・共有する場面

- カメラ付のICT端末を使って録画・保存したスピーチや話合いの動画を、各自で再生しながら話し方等を確認し、良い点や改善点についてコメントをフォルダ内の共有ファイルに書き込む。
- プレゼンテーションソフトを活用して、各自のテーマに即した発表資料をそれぞれ作成する。

知識・技能の習得を図る場面

- 古文や漢文等の教材となる動画を各自の目的に応じて選択・視聴し、言葉の響きやリズムに親しむ。
- 書写の指導において、デジタル教科書等を活用して、点画の書き方への理解を深める。

学習の見通しをもったり、学習した内容を蓄積したりする場面

- 各自の目的に応じてモデルとなるスピーチの動画を視聴し、学習の見通しをもつ。
- 以降の学習における様々な学習活動において自分の必要に応じて適宜参照できるように、学習した内容を個人のフォルダに蓄積する。

小学校・第2学年・国語科・学校のお気に入りの場所を1年生に紹介しよう①

育成を目指す資質・能力（主たる指導事項）

第1学年及び第2学年「A話すこと・聞くこと」

ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。（話すこと）

ICT活用のポイント

- ① 学習支援ソフトを用いて、友達の撮った紹介したい場所の様々な写真の中から、紹介したい事柄に合う写真を選ぶことができたり、その場所の特徴を考えたりすることができる。
- ② ICT端末の写真・動画撮影機能を用いて、紹介したい場所を各自が撮影したり、紹介の練習を撮影し合い、その動画を一人でまたは友達と繰り返し視聴し、声の大きさや速さなどを工夫したりすることができる。

事例の概要

- ◆ 1年生に紹介したい学校内の場所をクラスで出し合い、ICT端末を用いて写真を撮ってくる。教師がそれらの写真を確認の上、共有フォルダ内に保存する。
- ◆ 写真を見ながら紹介したい場所を選び、必要な写真を自分のICT端末に保存し、紹介する事柄（その場所の様子、その場所でできることなど）を短冊カードに書き出す。
- ◆ 短冊カードを選び、それを動かしながら「始めー中ー終わり」の順序を考える。
- ◆ 紹介の練習を撮影し合い、その動画を一人でまたは友達と繰り返し視聴し、伝えたい事柄に合わせて声の大きさや速さなどを確認したり工夫したりする。
- ◆ 1年生にお気に入りの場所を、ICT端末で写真を見せながら紹介する。

<話すこと> の学習過程

話題の設定

情報の収集

内容の検討

構成の検討

考えの形成

表現

共有

小学校・第2学年・国語科・学校のお気に入りの場所を1年生に紹介しよう②

【事例におけるICT活用の場面①】

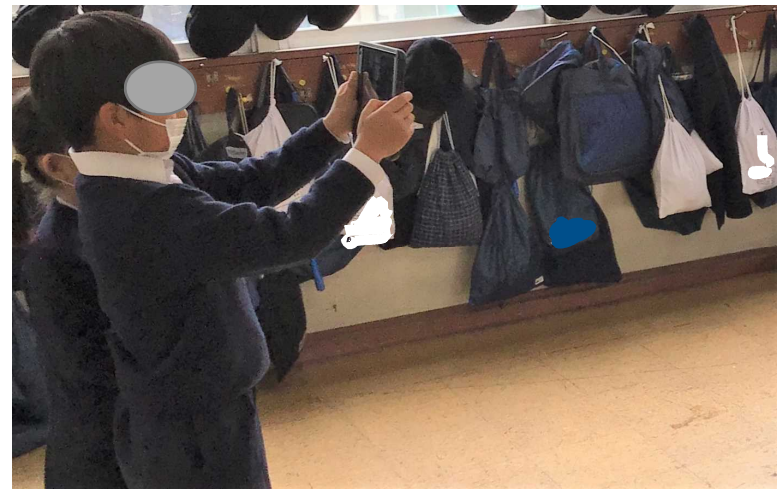


学習支援ソフトの共有フォルダから紹介したい場所の写真を選んでいる様子

〈児童にとってのICT活用のメリット〉

- 友達の撮った写真からも自分の紹介したい場所の写真を選べること。
- 様々な写真を見比べたり写真を拡大したりしてその場所の特徴を考え、紹介する事柄を集められること。
- 紹介する事柄に合う写真を見せながら、1年生にお気に入りの場所の紹介ができること。

【事例におけるICT活用の場面②】



紹介の練習を撮影している様子

〈児童にとってのICT活用のメリット〉

- 自分や友達の紹介の練習を撮影した動画を聞き手の立場から視聴し合うことで、発表する側からだけでは気付くことの難しい、伝えたい大事なところは特に大きな声でゆっくり話すことなどに気付き修正できること。

【活用したソフトや機能】

学習支援ソフト，写真・動画撮影機能